



令和8年度 一般会計当初予算

本定例会の 討論

議案に賛成・反対します

討論とは 質疑応答を経て、「なぜ賛成なのか」「なぜ反対なのか」の意見を述べ合うことです。ここでは、定例会最終日に行われた、令和8年度の予算(一般会計当初予算)に対する討論の概要をお伝えします。

賛成

23名

● 次世代への投資となる4本柱を基軸とした積極予算を評価。厳しい財政下、基金残高の確保と行財政改革の継続を求める。個別施策では、認定こども園への移行支援や奨学金返還支援、高齢者の聞こえの支援、障害者窓口の字幕導入などを評価。学校施設の建て替えや防災拠点整備を着実に進めつつ、BPRによる窓口のワンストップ化やシティプロモーションの拡充、教育環境の整備を加速させ、持続可能なまちづくりを期待し、賛成する。

- 給食費無償化や若者・高齢者支援など会派の提案が反映された予算を評価。厳しい財政下、BPRによる行財政改革やデータ活用による健康施策、交通網整備による社会参加の促進を求め、SDGsの理念に基づく活力あるまちづくりを期待し、賛成する。
● 学校環境の修繕で「子どもど真ん中」を具体化したことを評価。特別支援や不登校への個別最適な支援拡充を期待し、賛成する。
● 厳しい財政下での積極予算を評価しつつ、庁舎統合の早期決断やDX、次世代への投資加速を求め、賛成する。
● 学校環境改善や若者支援を評価し、賛成する。
● 有事の危機管理と経済対策を求めつつ、賛成する。

反対

3名

● 物価高騰下での国保料上げや、学童クラブの過密対策不足、震災用井戸の廃止、公共性に欠ける庁舎跡地活用、強引な施設複合化、市民サービスを削る行財政改革を懸念し、反対する。



本会議録画映像 (3月27日)

討論の様子を動画で見ると

その他の討論は会議録に掲載します。公開予定は10面をご覧ください。



予算特別委員会の審査から

令和7年度の補正予算について、予算特別委員会で審査しました。質疑の一部を紹介します。

令和8年度の補正予算について、当初予算とあわせ、予算特別委員会で審査しました。質疑の一部を紹介します。

令和7年度補正予算

★一般会計(第12号)

主な補正内容

決算見込みや各事業の執行実績による調整 減額 7億5,333万8,000円

主な質疑

健康事業ガイドは、市報4月15日号に折り込み

- 問 冊子から市報への折り込みによる効果は。
答 冊子より手にしやすく、便利になる。情報量は少なくなるが、見開きで広げて見ることができ、見たい、知りたい部分を探しやすい紙面構成とする。
問 検診の申込みはがきが廃止されるが、受診率の低下を防ぐための検討はしているのか。
答 若年健診以外は、前回受診した方に次回は申込み不要で受診券を直接送付する仕組みに変更する。

4月1日から南町遊水池広場がオープン

- 問 近隣にお住まいの方の意見を伺って、配慮した点は。
答 夜間の騒音等の心配の声をいただいております。夏は午前9時から午後6時まで、冬は午前9時から午後5時までの開場を予定している。



結果 賛成多数で可決

令和8年度補正予算

★一般会計(第1号)

主な補正内容

低所得・被保護世帯を対象としたエアコン設置の支援、市立以外の児童生徒を対象とした給食費相当額の支援 増額 1億2,334万9,000円

主な質疑

熱中症対策 低所得世帯等へエアコンの設置を支援します

- 問 想定件数は。
答 内閣府の消費動向調査等を基に、低所得世帯190世帯、被保護世帯60世帯を想定。
問 上限額は。
答 1世帯当たり1台とし、10万円が上限。
問 なぜ補正予算での計上となったのか。
答 都が本補助事業を実施することになり、猛暑日が増加する前に補助を開始できるように、補正予算として計上した。



私立小中学校等に通う児童生徒の給食費分を支援します

- 問 この事業を提案する経緯は。
答 児童生徒の保護者負担軽減を目的とし、これまで段階的に給食費無償化の取組を進めてきた。この度、都が令和8年に創設した補助金制度を活用し、私立小中学校等の給食費補助を実施することで、児童生徒の保護者への支援を強化する。
問 国立小中学校に通う児童生徒も対象になるのか。
答 対象になる。



結果 賛成全員で可決

詳細は後日、会議録に掲載されます。(公開予定は10面へ)